

平成23年5月29日

まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門・“はじめの一步”部門」
まちづくり活動提案書

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

提案名	中川運河キャナルアート地域連携プロジェクト		
団体名	中川運河キャナルアート		
提案の活動を行う地域	中川運河小栗橋周辺の河岸と商店街・学区内		
提案の内容	<p>昨年度(2010年10月)、プロジェクトゼロとして中川運河沿いの企業の倉庫を借り第一回目のアートイベントを開催した。当イベントは中川運河のポテンシャルを内外に発信すべく、世界的なアーティストと協働で開催することができた。イベントはさまざまな方面で関心と呼び当該地区への認知とともに今後の期待値を高めた。</p> <p>本年度の活動としては、昨年度のイベントにより繋がった地域との関係を更に強化し、また地元小・中学校や商店街との連携にも力を注ぐことで、地域住民との交流事業を通して当該地区の魅力を再発見するとともに、第二回目のアートイベントに向けて地域との強い絆を創ることを目標とする。</p> <p>具体的には次の①コスモスプロジェクト②地域連携中川運河シンポジウム③昨年と同場所でアートイベントを実施・開催する。</p> <p>①中川運河沿いの名管管理地をお借りして、地域住民とのコスモスの種植えや、水まき、草刈りなど、管理を含めて年間を通して住民たちとの協働作業を実施する。更に地域の方々や運河沿いの企業にコスモスの種を配布し、コスモスの開花を通して、まちづくりと市域の絆を高める。</p> <p>②中川運河の可能性や、かつて地元西宮神社等で行われていた盛大な“お祭り”を今に相応しい形で復活する等々、住民たちとともに議論を深めるシンポジウムを開催する。また関連して中川運河沿いの出身者で現在、世界的に活躍するアーティストとともに学区でのワークショップも開催する予定である。</p> <p>③昨年と同じ場所でアートイベントやライブパフォーマンスを開催することで、中川運河の魅力再発見、地域とのさらなる交流が図れ、まちづくりへの新たなムーブメントを巻き起こす。</p>		
活動期間	平成23年4月～平成24年3月	助成金交付申請額	50万円

2 提案内容について

「1 提案の内容」について、以下の4つの視点で具体的に活動内容をご記入ください。

審査基準① 必要性	・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感 が得られる活動か
(提案活動の必要性について上記観点から分かり易くご記入下さい。) ※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。	
1. 地域に根差した活動 今後、大きな展開が見込まれる中川運河の流域において地域住民との協働 作業が実施できる。活動を通して、中川運河の歴史・財産を継承していく。	
2. 環境づくり 年間を通して企業・地域住民・市民団体とともに活動することで、運河沿い の環境を理解し新たな土地活用を提案していく。	
3. アート教育・まちづくりの推進 ワークショップ・シンポジウムを通して、アートと教育あるいは、アートと まちづくりという切り口の仕掛けをつくっていく。	
審査基準② 独創性	・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか
(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。) 当活動は、まちづくりの枠組みにおいてアートを活用することで、新たにま ちづくり全体の裾野を広げることができると考える。 ・コスモスプロジェクトは特定地区だけの展開だけではなく、それに派性し て地域の商店街、企業に対してコスモスの鉢や種をお送りして、中川運河への 環境意識の啓発につながる。 ・ワークショップは学区の小学生たちに対しては世界のアートの一端に触れ る機会となる。地域の方たちには、アーティストが参加するシンポジウム 等、当該地区と世界を結ぶ機会を提供できる。	
審査基準③ 実現性	・提案内容が具体的になっているか ・事業予算は妥当か
時期	活動内容
平成23年4月	委員会開催（プロジェクト企画）
5月	委員会開催（プロジェクト企画）・コスモスプロジェクト準備作業
6月	コスモス種蒔き・地元への種配布等
7月	イベント実施に伴う行政他関係機関との調整
8月	地元出身アーティストによる学区でのワークショップ
9月	イベント準備
10月	アートイベント・シンポジウムの開催（コスモス開花）
11月	各ワークの取りまとめ
12月	報告書の作成
平成24年1月	
2月	
3月	

助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書(ページが不足する場合は別紙にご記入下さい。)

活動項目	内訳	金額(円)
コスモスプロジェクト	土購入費用	100,000
	運搬費	20,000
	種購入	30,000
	備品購入	50,000
アートイベント・シンポジウム・ワークショップ	講師招聘費用	150,000
	備品購入費用	50,000
	会場設営費用	150,000
	PR費用	100,000
計		¥650,000

審査基準④ 発展性
 ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
 ・助成後に地域まちづくり活動への波及効果があるか

(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

・地域に対して

当団体のアートを通じた地域へのアプローチは、これまでまちづくりに参加できなかった層に対しても啓発が可能である。アートという切り口で地域の歴史・財産を理解することで、自らの地域の新たな価値を認識できると考える。

・名古屋市全体に対して

当活動はアーティストやクリエイターの活動の場を創出していき、中川運河を発信源として新たな価値をつくっていく。将来的には名古屋市が国際的な「感性都市」として発展していくことを期待する。

審査基準⑤ 活動実績と主体性
 ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか
 (団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等をご記入ください。)
 ・具体的にどんな熱意を注いでいるか

※「はじめの一歩部門」は審査の対象とはしません。

※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。
 この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。

団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。

・2010年団体設立

中川運河から世界へアートを通じた感性の発信として設立。建築、大学関係、クリエイター、都市計画方面から人材が集まり定期的な会議、あるいは分科会を通して当該地区での活動を進めてきた。

・2010年10月プロジェクトゼロとして中川運河沿いの企業倉庫を中心にイベントを開催した。悪天候ではあったが多くの来場者を集め成功を収めた。なかでも巨大な倉庫外壁に映し出すデジタル掛け軸や、倉庫内の空間を活用しての現代能は各方面からの関心を集めた。

※第2号様式は、3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とします。